

平成2年度 (1990年)

この年は、翌春に千葉・幕張での第41回世界選手権を控え、プレイベントが多数、関東地域内で行われた。具体的には、ザ・卓球、第1回ワールド・オールスター・サーキット、第1回ワールドチームカップ、プレ世界選手権・卓球ウィーク (東京体育館新装記念)、ワールドカップ、ジャパンオープンなどであった。関東学連も年間を通じてこれらの行事に協力し、役員は運営に忙殺された。しかし、これらのチャレンジを通じて、この前後数年に渡って研究された卓球活性化の模索 (カラー化=ブルーテーブル・オレンジボール・カラーマット・ブルーフェンス=ボールパーソン、サービスジャッジ、低いフェンス、高いタオル入れなど) に触れる事は、新鮮な驚きであり、良い刺激であった。

また、学連内においても、日学連において「今年度限りで東日本学生・西日本学生・東西優勝校対抗戦の3大会を中止する」事が、関東学連においては「今年度よりリーグ戦・女子3部以下の試合方式を変更 (5単2複→4単1複) する」事が、それぞれ決定し、まさに革命的な年であった。

競技面では、明大の渋谷・松下兄弟らが卒業し、男子の勢力地図は激変して戦国時代を迎えた。春 (リーグ) 早大、夏 (インカレ) 専大、秋 (リーグ) 中大と優勝校も大会毎に変わった。その中で、有望新人3人 (平・糀谷・小笠原) が加わった早大は特に強力で、シングルスでは関東学生 (平) を18年ぶりに獲得、ダブルスでは新人戦 (平・糀谷組)、関東学生 (阿部・小笠原組)、東日本学生 (平・糀谷組)、全日学 (鷺見・大矢組) と、全大会を異なる3ペアが獲得する、という偉業を成し遂げた。ここからもわかる層の厚さで、団体でも最後の東西優勝校対抗戦において17年ぶり12回目の最多優勝を飾った。

また、この年、埼工大に強豪・周宏が入学し、これまで主に他学連で話題とされていた外国人留学生問題が、この後、いよいよ関東でもクローズアップされることになる。

女子は相変わらず青学大が強く、インカレと秋リーグを制覇。高橋・室重組で東日本学生と全日学のダブルスを連覇している。関東学生選手権・単と東西優勝校対抗戦においては、共に7年連続優勝の偉業を達成した。もし、東西優勝校対抗戦が継続されていれば、さらに連勝記録を伸ばした可能性は非常に高い。

この、最後の東西優勝校対抗戦は全日学と併せて関東学連主管で新装なった東京体育館において、日学連史上初のカラー化大会として、オレンジボール・ブルーテーブル使用で行われたが、全日学・単で優勝を飾ったのは王 (龍大) と高尾 (中大) だった。なお、高尾は、昭和63年から平成7年までの8年間の間で唯一の女子単・日本人チャンピオンである (この前後に、昭和62年の星野、平成8年の岡崎がおり、この10年間で、日本人チャンピオンはこの3人のみ)。

その他、中国指導者講習会、対香港対抗戦、プレ世界選手権・卓球ウィーク時の対イングランド・対ルーマニア対抗戦、ワルドナー講習会などの国際事業もあり、本当に多忙を極めた1年であった。



ワールドチームカップ会場・代々木第2



関東学生優勝、平 亮太 (早大)

関東学生新人選手権大会…28歳の新人・周が強豪を連破し、外国人留学生として初優勝

◇男子シングルス
準決勝
周 宏(埼工大) 2(10,-19,13) 1 入山浩治(中大)
糀谷博和(早大) 2(16,-18,18) 1 徳村智彦(明大)
決勝
周 宏(埼工大) 2(11, 14) 0 糀谷博和(早大)
◇男子ダブルス
準決勝
平 亮太(早大) 2(-20,17,12) 1 徳村智彦(明大)
糀谷博和(早大) 2(16,-18,18) 1 小畑幸生(明大)
入山浩治(中大) 2(21, 14) 0 館脇 亮(早大)
外間政克(早大) 2(18,-12,18) 1 渡辺優樹(早大)
決勝
平 亮太(早大) 2(18,-12,18) 1 入山浩治(中大)
糀谷博和(早大) 2(16,-18,18) 1 外間政克(早大)

◇女子シングルス
準決勝
杉山 環(富士短大) 2(-12,22,18) 1 山田 陽子(日大)
大場範子(中大) 2(10, 19) 0 竹内めぐみ(専大)
決勝
杉山 環(富士短大) 2(-12,19,19) 1 大場 範子(中大)
◇女子ダブルス
準決勝
小泉 晶子(大正大) 2(-17, 6,18) 1 河村 町子(専大)
宇佐美由香(大正大) 2(-17, 6,18) 1 河西 美枝(専大)
杉山 環(富士短大) 2(20, 13) 0 遠藤こず枝(青学大)
和田真由美(富士短大) 2(20, 13) 0 長尾 由理(青学大)
決勝
小泉 晶子(大正大) 2(12, 18) 0 杉山 環(富士短大)
宇佐美由香(大正大) 2(12, 18) 0 和田真由美(富士短大)

関東学生選手権大会…男子・1年生が大活躍。早大勢が単複制覇。女子・青学大は単で7年連続優勝の偉業を達成!

◇男子シングルス
準々決勝
平 亮太(早大) 3(-16,16,16,-15,15) 2 三浦 真樹(早大)
徳村智彦(明大) 3(18,-11,11,15) 1 斎藤 英晴(早大)
橋本正浩(専大) 3(19, 18, 15) 0 小笠原剛士(早大)
野平浩司(専大) 3(15,-15,22,11) 1 川崎 崇弘(早大)
準決勝
平 亮太(早大) 3(12, 13, 14) 0 徳村 智彦(明大)
橋本正浩(専大) 3(13, 16, 10) 0 野平 浩司(専大)
決勝
平 亮太(早大) 3(19,-17,14,15) 1 橋本 正浩(専大)
(平は初優勝)
◇男子ダブルス
準決勝
阿部 友明(早大) 2(18, 15) 0 児玉義典(明大)
小笠原剛士(早大) 2(18, 15) 0 佐藤克典(明大)
渡辺 輝彦(専大) 2(9, 16) 0 徳村智彦(明大)
橋本 正浩(専大) 2(9, 16) 0 小畑幸生(明大)
決勝
阿部 友明(早大) 2(19,-14,16) 1 渡辺輝彦(専大)
小笠原剛士(早大) 2(19,-14,16) 1 橋本正浩(専大)
(阿部・小笠原組は初優勝。阿部は2年連続2回目の優勝)

◇女子シングルス
準々決勝
室重明世(青学大) 3(-19,19,17,-10,17) 2 内野 文(専大)
八嶋悦子(青学大) 3(13,-18,20,17) 1 小貫菜穂子(専大)
白浜里子(富士短大) 3(18, 16, 19) 0 高尾 和子(中大)
岡村篤子(青学大) 3(12, 12, 19) 0 村松由希子(専大)
準決勝
室重明世(青学大) 3(14, 15, 17) 0 八嶋 悦子(青学大)
白浜里子(富士短大) 3(16,18,-18,-10,19) 2 岡村 篤子(青学大)
決勝
室重明世(青学大) 3(-20,-12,14,18,13) 2 白浜 里子(富士短大)
(室重は初優勝)
◇女子ダブルス
準決勝
内野 文(専大) 2(18, 13) 0 財津 恵(富士短大)
小貫菜穂子(専大) 2(18, 13) 0 和田真由美(富士短大)
小野ひとみ(専大) 2(18,-13,19) 1 高橋 頼子(青学大)
村松由希子(専大) 2(18,-13,19) 1 室重 明世(青学大)
決勝
内野 文(専大) 2(13, 20) 0 小野ひとみ(専大)
小貫菜穂子(専大) 2(13, 20) 0 村松由希子(専大)
(内野・小貫組は2年連続2回目の優勝)

春季リーグ戦…男女とも、新人の活躍で古豪復活の優勝

男子・平は単複9戦全勝の大活躍
女子・大場も単5戦全勝で殊勲賞

男子1部
早稲田大 4 - 1 明治大
1○平 亮太 2(-18, 8,14) 1 中村国善
2 小笠原剛士 0(-20,-20) 2 児玉義典○
3○大矢 剛 2(16, 19) 0 徳村智彦
4○平 亮太 2(17, 15) 0 徳村智彦
糀谷博和 2(17, 15) 0 小畑幸生
5○牛谷 有一 2(11, 13) 0 佐藤克典
6 糀谷 博和 山崎一也
7 鷺見 剛 小畑幸生
(早稲田大は27季ぶり20回目の優勝)

秋季リーグ戦…中大、戦国男子を制す

矢島と復 (大川・入山組) が5戦全勝
女子は躍進の富士短大を女王・青学大がかわす

男子1部
中央大 4 - 0 早稲田大
1○矢島淑雄 2(-17,13,11) 1 小笠原剛士
2○工藤 芽 2(-11,16,16) 1 平 亮太
3○大川誠司 2(19, 12) 0 阿部 友明
4○大川誠司 2(-16,16,20) 1 平 亮太
入山浩治 2(-16,16,20) 1 糀谷 博和
5 外間政克 牛谷 有一
6 板垣孝司 糀谷 博和
7 入山浩治 鷺見 剛
(中央大は21季ぶり12回目の優勝)

女子1部

中央大 4 - 3 青山学院大
1○都築晴美 2(16, 16) 0 八嶋悦子
2○大場範子 2(18,-17,16) 1 高橋頼子
3 高尾和子 0(-13,-12) 2 高橋頼子○
大場範子 2(18,-17,16) 1 室重明世○
4 岡本香奈 0(-11,-11) 2 室重明世○
5○岡本香奈 2(-15,14,19) 1 林 礼子
工藤靖子 2(-15,14,19) 1 遠藤光恵
6 高尾和子 0(-11,-22) 2 岡村篤子○
7○工藤靖子 2(-15,15,17) 1 遠藤光恵
(中央大は13季ぶり21回目の優勝)

女子1部

青山学院大 4 - 2 富士短期大
1 遠藤 光恵 0(-19,-12) 2 石岡 昭子○
2○八嶋 悦子 2(10, 19) 0 中尾恵利香
3○高橋 頼子 2(-21,17,11) 1 中尾恵利香
室重 明世 2(-21,17,11) 1 石岡 昭子
4○室重 明世 2(15,-19,15) 1 柳引 理恵
5 岡村 篤子 0(-15,-19) 2 白浜 里子○
丸木貴美子 0(-15,-19) 2 柳引 理恵
6○高橋 頼子 2(20,-15,14) 1 白浜 里子
7 岡村 篤子 和田真由美
(青山学院大は2季ぶり14回目の優勝)

入替戦
男子・日本大(2部) 4-3 日本体育大(1部)
女子・富士短期大(1部) 4-1 日本大(2部)

入替戦
男子・日本大(1部) 4-2 日本体育大(2部)
女子・日本体育大(1部) 4-1 日本大(2部)

春秋王座決定戦
男子・早稲田大(春季) 4-2 中央大(秋季)
女子・青山学院大(秋季) 4-1 中央大(春季)

平成2年度・春季

男子1部	明治大	専修大	中央大	早稲田大	大正大	日本体育大	勝敗	得失	順位
明治大	○4-1	●2-4	●1-4	○4-1	○4-3	○4-3	3-2	15-13	2
専修大	●1-4	○4-1	●3-4	○4-1	○4-3	○4-3	3-2	16-13	3
中央大	○4-2	●1-4	○4-1	●1-4	○4-1	●3-4	2-3	13-15	4
早稲田大	○4-1	○4-3	○4-1	○4-0	○4-1	○4-1	5-0	20-6	1
大正大	●1-4	●1-4	●1-4	●0-4	○4-2	○4-2	1-4	7-18	5
日本体育大	●3-4	●3-4	○4-3	●1-4	●2-4	○4-2	1-4	13-19	6



殊勲賞 平亮太(早大)
 敢闘賞 児玉義則(明大)
 優秀選手賞 平亮太(早大)
 徳村智彦(明大)
 田原直昌(専大)
 最優秀新人賞 平亮太(早大)
 徳村智彦(明大)

平成2年度・春季

女子1部	青山学院大	専修大	中央大	富士短期大	日本体育大	大正大	勝敗	得失	順位
青山学院大	○4-2	●3-4	○4-1	○4-1	○4-1	○4-1	4-1	19-9	2
専修大	●2-4	○4-1	●1-4	○4-3	○4-1	○4-3	3-2	15-15	3
中央大	○4-3	○4-1	○4-1	●3-4	○4-2	○4-0	4-1	19-10	1
富士短期大	●1-4	●3-4	○4-3	○4-1	●1-4	●3-4	1-4	12-19	6
日本体育大	●1-4	●1-4	●2-4	○4-1	○4-1	●0-4	1-4	8-17	5
大正大	●1-4	●3-4	●0-4	○4-3	○4-0	○4-1	2-3	12-15	4



殊勲賞 大場 範子(中大)
 敢闘賞 高橋 頼子(青学大)
 優秀選手賞 大場 範子(中大)
 岡本 香奈(中大)
 堀越 芳江(大正大)
 最優秀新人賞 大場 範子(中大)

平成2年度 春季リーグ戦成績表

男子	1	2	3	4	5	6	
1部	早稲田大	明治大	専修大	中央大	大正大	日本体育大	
2部	日本大	法政大	青山学院大	筑波大	駒沢大	東洋大	
3部	A	慶応義塾大	東京経済大	東京学芸大	東海大	東京理科大	東京農業大
	B	千葉商科大	東京大	国学院大	東京都立大	明星大	(亜細亜大)
4部	A	東京電機大	東京農工大	一橋大	明治学院大	埼玉大	(日本工業大)
	B	立教大	大東文化大	国士館大	群馬大	帝京大	都留文科大
	C	横浜国立大	順天堂大	千葉大	学習院大	成蹊大	立正大
	D	創価大	宇都宮大	東京工業大	高崎経済大	茨城大	横浜市立大
5部	A	埼玉工業大	武蔵大	山梨大	日工学院専	東京歯科大	芝浦工業大
	B	独協大	千葉工業大	工学院大	東京薬科大	山梨学院大	電気通信大
	C	文教大	武蔵工業大	東医歯大	産能大	高千穂商大	流通経済大
	D	神奈川大	関東学院大	玉川大	上智大	防衛大学校	成城大
6部	A	東京国際大	東京工芸大	東京水産大	(日本電子専)	(聖マリ医大)	
	B	淑徳大	千葉経済大	(国際武道大)			
	C	星薬科大	横浜商科大	日獣畜大	大原簿記		
	D	中央工学校	和光大	明治薬科大	(防医大)		
	E	二松学舎大	I C U	桜美林大	湘南工科大		

女子	1	2	3	4	5	6	
1部	中央大	青山学院大	専修大	大正大	日本体育大	富士短期大	
2部	日本大	東洋大	淑徳短期大	和洋女子大	東女体大	日女体大	
3部	A	筑波大	埼玉大	千葉大	慶応義塾大	茨城大	法政大
	B	早稲田大	東京学芸大	宇都宮大	群馬大	文教大	国学院大
4部	A	東京大	立教大	創価大	大東文化大	山梨大	(鶴見大)
	B	都留文科大	立正大	東京家政大	東医歯大	明治学院大	
	C	大妻女子大	学習院大	産能大	東京理科大	東京歯科大	(高崎経済大)
	D	武蔵大	玉川大	横浜国立大	武蔵野女大	(明治大)	(二松学舎大)
5部	A	上智大	日獣畜大	創価女短大	東京薬科大	(実践女子大)	
	B	東京外語大	明治薬科大	星薬科大	聖心女子大	桜美林大	
	C	帝京大	東京都立大	淑徳大	東京農工大	(十文字短大)	(東京農業大)
	D	群馬女大	共立薬科大	日本女子大	(産能短大)	(I C U)	
6部	A	成城大					
	B	東成徳短大	(成蹊大)	(大原簿記)			
	C	独協大	清泉女大				

()は棄権したチーム

平成2年度・秋季

男子1部	早稲田大	明治大	専修大	中央大	大正大	日本大	勝敗	得失	順位
早稲田大		○4-1	○4-3	●0-4	○4-3	○4-0	4-1	16-11	2
明治大	●1-4		●0-4	●3-4	●2-4	○4-1	1-4	10-17	5
専修大	●3-4	○4-0		●2-4	●3-4	○4-1	2-3	16-13	4
中央大	○4-0	○4-3	○4-2		○4-1	○4-1	5-0	20-7	1
大正大	●3-4	○4-2	○4-3	●1-4		○4-3	3-2	16-16	3
日本大	●0-4	●1-4	●1-4	●1-4	●3-4		0-5	6-20	6



殊勲賞 矢島 淑雄 (中大)
 敢闘賞 鷲見 剛 (早大)
 優秀選手賞 矢島 淑雄 (中大)
 徳村 智彦 (明大)
 三浦 真樹 (大正大)

平成2年度・秋季

女子1部	中央大	青山学院大	専修大	大正大	日本体育大	富士短期大	勝敗	得失	順位
中央大		●0-4	●3-4	○4-0	○4-3	●3-4	2-3	14-15	3
青山学院大	○4-0		○4-2	○4-1	○4-0	○4-2	5-0	20-5	1
専修大	○4-3	●2-4		●2-4	○4-0	●1-4	2-3	13-15	4
大正大	●0-4	●1-4	○4-2		○4-0	●0-4	2-3	9-14	5
日本体育大	●3-4	●0-4	●0-4	●0-4		○4-3	1-4	7-19	6
富士短期大	○4-3	●2-4	○4-1	○4-0	●3-4		3-2	17-12	2



殊勲賞 室重 明世 (青学大)
 敢闘賞 石岡 昭子 (富士短大)
 優秀選手賞 室重 明世 (青学大)
 石岡 昭子 (富士短大)

平成2年度 秋季リーグ戦成績表

男子	1	2	3	4	5	6
1部	中央大	早稲田大	大正大	専修大	明治大	日本大
2部	日本体育大	青山学院大	法政大	筑波大	駒沢大	東洋大
3部	A	千葉商科大	東海大	東京農業大	東京経済大	国学院大 (明星大)
	B	東京理科大	慶応義塾大	東京大	東京学芸大	東京都立大 東京電機大
4部	A	順天堂大	創価大	茨城大	明治学院大	立正大 国士館大
	B	群馬大	神奈川大	埼玉大	千葉大	宇都宮大 (亜細亜大)
	C	立教大	埼玉工業大	帝京大	東京工業大	学習院大 東京農工大
	D	横浜国立大	大東文化大	成蹊大	一橋大	独協大 高崎経済大
5部	A	中央工学校	横浜市立大	武蔵工業大	工学院大	日工学院専 防衛大学校
	B	関東学院大	東医歯大	東京薬科大	日本工業大	淑徳大 東京歯科大
	C	都留文科大	武蔵大	山梨学院大	芝浦工業大	玉川大 産能大
	D	電気通信大	山梨大	千葉工業大	文教大	上智大 高千穂商大
6部	A	二松学舎大	日獣畜大	東京商船大	和光大	
	B	I C U	東京国際大	(明治薬科大)	(大原簿記)	
	C	桜美林大	成城大	東京工芸大	(防衛医科大)	
	D	千葉経済大	東京水産大	(星薬科大)	(湘南工科大)	
	E	横浜商科大	流通経済大	(国際武道大)	(日本電子専)	

女子	1	2	3	4	5	6
1部	青山学院大	富士短期大	中央大	専修大	大正大	日本体育大
2部	日本大	淑徳短期大	東洋大	日女体大	和洋女子大	東女体大
3部	A	早稲田大	宇都宮大	都留文科大	埼玉大	慶応義塾大 文教大
	B	筑波大	茨城大	東京学芸大	千葉大	大妻女子大 群馬大
4部	A	学習院大	東京家政大	武蔵大	群馬女大 (大東文化大)	(明治大)
	B	東京大	上智大	産能大	山梨大 (玉川大)	(東医歯大)
	C	法政大	東京理科大	立教大	帝京大	明治学院大 横浜国立大
	D	立正大	創価大	国学院大	東京歯科大	東京外語大 (武蔵野女大)
5部	A	東京都立大	創価女短大	東京農業大	(高崎経済大)	(星薬科大) (I C U)
	B	淑徳大	聖心女子大	共立薬科大	成城大	(二松学舎大) (実践女子大)
	C	東成徳短大	日獣畜大	東京農工大	桜美林大	日本女子大
	D	明治薬科大	東京薬科大	十文字短大	産能短期大	(鶴見大) (独協大)
6部	A	明星大	成蹊大	清泉女大	大原簿記	

()は棄権したチーム

平成2年度(1990年)

第60回全日本大学対抗卓球大会(京都府立体育館) …男子は戦国時代へ突入。女子・青学大は4連覇へスタート。

◇男子団体

準々決勝

専修大 3-1 近畿大
 明治大 3-1 大正大
 早稲田大 3-0 日本大
 中央大 3-0 京都産業大

準決勝

専修大 3-1 明治大
 渡辺輝彦 0(-20,-16)2 児玉義則○
 ○江崎敏満 2(17,12)0 小畑幸生
 ○渡辺輝彦 2(-16,17,18)1 徳村智彦
 橋本正浩 小畑幸生
 ○田原直昌 2(14,-13,13)1 徳村智彦
 橋本正浩 佐藤克典

早稲田大 3-2 中央大
 ○平亮太 2(10,11)0 入山浩治
 鷺見剛 1(19,-22,-9)2 矢島淑雄○
 平亮太 1(-16,16,-22)2 大川誠司○
 糀谷博和 入山浩治
 ○小笠原剛士 2(15,11)0 大川誠司
 ○糀谷博和 2(18,-19,11)1 外間政克

決勝

専修大 3-0 早稲田大
 ○田原直昌 2(7,-19,25)1 平亮太
 ○橋本正浩 2(17,13)0 大矢剛
 ○渡辺輝彦 2(20,-13,19)1 平亮太
 橋本正浩 糀谷博和
 江崎敏満 小笠原剛士
 野平浩司 糀谷博和
 (専修大は2年ぶり17回目の優勝)
 敢闘賞 橋本正浩(専修大)

◇女子団体

準々決勝

青山学院大 3-1 日本体育大
 富士短期大 3-0 近畿大
 中央大 3-0 東筑紫短期大
 大正大 3-0 専修大

準決勝

青山学院大 3-0 富士短期大
 ○室重明世 2(11,17)0 中尾恵利香
 ○遠藤光恵 2(11,13)0 石岡昭子
 ○高橋頼子 2(-19,18,21)1 財津恵
 室重明世 和田真由美
 八嶋悦子 財津恵
 高橋頼子 白浜里子
 中央大 3-2 大正大
 ○岡本香奈 2(-17,22,15)1 小泉晶子
 高尾和子 0(-16,-18)2 宇佐美由香○
 ○岡本香奈 2(-19,6,11)1 堀越芳江
 工藤靖子 小泉晶子
 大場範子 0(-13,-23)2 堀越芳江○
 ○工藤靖子 2(14,16)0 磯部由紀子

決勝

青山学院大 3-1 中央大
 室重明世 1(11,-19,-16)2 高尾和子○
 ○岡村篤子 2(17,12)0 岡本香奈
 ○高橋頼子 2(14,14)0 岡本香奈
 室重明世 工藤靖子
 ○八嶋悦子 2(-15,8,13)1 工藤靖子
 高橋頼子 大場範子
 (青山学院大は2年ぶり5回目の優勝)
 敢闘賞 高橋頼子(青山学院大)

第44回東日本学生選手権大会(札幌中島体育センター別館) …最後の東日学は、5年ぶりの関東勢の全種目制覇で幕を閉じる。

◇東西優勝校対抗戦・東日本代表決定戦

男子団体

早稲田大 4-1 東北福祉大

◇男子シングルス

準決勝

橋本正浩(専大) 3(20,-16,22,8)1 平亮太(早大)
 大川誠司(中大) 3(19,-18,22,17)1 児玉義則(明大)

決勝

橋本正浩(専大) 3(-16,15,15,13)1 大川誠司(中大)
 (橋本は初優勝)

◇男子ダブルス

準決勝

平亮太(早大) 2(-8,8,11)1 入山浩治(中大)
 糀谷博和(早大) 外間政克(中大)
 矢島淑雄(中大) 2(12,14)0 山際昌彦(日体大)
 大川誠司(中大) 霜島光央(日体大)

決勝

平亮太(早大) 2(15,17)0 矢島淑雄(中大)
 糀谷博和(早大) 大川誠司(中大)
 (平・糀谷組は初優勝)

女子団体

青山学院大 4-2 中京大

◇女子シングルス

準決勝

佐藤恵理子(日大) 3(-20,-14,17,16,16)2 小貫菜穂子(専大)
 室重明世(青学大) 3(13,19,19)0 村松由希子(専大)

決勝

佐藤恵理子(日大) 3(17,-16,16,18)1 室重明世(青学大)
 (佐藤は初優勝)

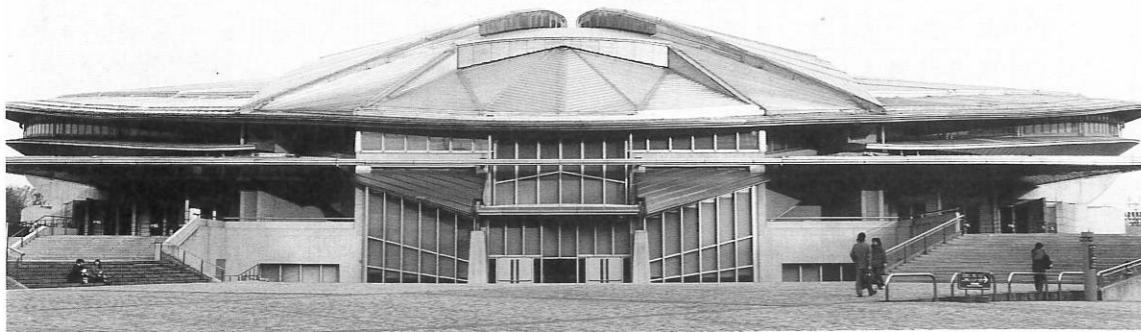
◇女子ダブルス

準決勝

高橋頼子(青学大) 2(17,19)0 遠藤こず枝(青学大)
 室重明世(青学大) 長尾由理(青学大)
 小野ひとみ(専大) 2(14,15)0 岡村篤子(青学大)
 村松由希子(専大) 丸木貴美子(専大)

決勝

高橋頼子(青学大) 2(7,-16,11)1 小野ひとみ(専大)
 室重明世(青学大) 村松由希子(専大)
 (高橋・室重組は初優勝。室重は2年ぶり2回目の優勝)



全日本学生選手権大会 会場 東京体育館

第57回全日本学生選手権大会(東京体育館) …最後の東西優勝校対抗戦。男子・早大、最多優勝回数を更新(12回目)。

女子・青学大は7連覇(連覇新記録)を達成し、幕。

◇東西優勝校対抗戦

男子団体

早稲田大 4-1 福岡大
 (早稲田大は17年ぶり12回目の優勝)

◇男子シングルス

準々決勝

王会元(龍谷大) 3(18,18,14)0 糀谷博和(早大)
 内宮誠(専大) 3(-15,17,-17,18,19)2 大矢剛(早大)
 順万雲(東洋大) 3(15,19,9)0 三島崇明(日大)
 大川誠司(中大) 3(13,-21,19,13)1 伊神幹夫(大商大)

準決勝

王会元(龍谷大) 3(6,15,7)0 内宮誠(専大)
 順万雲(東洋大) 3(19,14,10)0 大川誠司(中大)

決勝

王会元(龍谷大) 3(13,15,-10,8)1 順万雲(東洋大)
 (王は初優勝)

◇男子ダブルス

準決勝

鷺見剛(早大) 2(12,18)0 王会元(龍谷大)
 大矢剛(早大) 有馬英純(龍谷大)
 渡辺輝彦(専大) 2(-12,17,15)1 徳村智彦(明大)
 橋本正浩(専大) 小畑幸生(明大)

決勝

鷺見剛(早大) 2(10,19)0 渡辺輝彦(専大)
 大矢剛(早大) 橋本正浩(専大)
 (鷺見・大矢組は初優勝)

女子団体

青山学院大 4-0 別府女子短期大
 (青山学院大は7年連続7回目の優勝)

◇女子シングルス

準々決勝

高尾和子(中大) 3(11,-16,18,11)1 小林かおる(中大)
 阪井智子(富士短大) 3(-19,14,-12,13,16)2 大場範子(中大)
 八嶋悦子(青学大) 3(19,13,-16,16)1 白浜里子(富士短大)
 石岡昭子(富士短大) 3(16,11,14)0 小泉晶子(大正大)

準決勝

高尾和子(中大) 3(18,-18,7,10)1 阪井智子(富士短大)
 八嶋悦子(青学大) 3(17,18,8)0 石岡昭子(富士短大)

決勝

高尾和子(中大) 3(6,8,16)0 八嶋悦子(青学大)
 (高尾は初優勝)

◇女子ダブルス

準決勝

高橋頼子(青学大) 2(20,16)0 林礼子(青学大)
 室重明世(青学大) 遠藤光恵(青学大)
 内野文(専大) 2(18,17)0 中尾恵利香(富士短大)
 小貫菜穂子(専大) 石岡昭子(富士短大)

決勝

高橋頼子(青学大) 2(17,18)0 内野文(専大)
 室重明世(青学大) 小貫菜穂子(専大)
 (高橋・室重組は初優勝)



インカレ優勝の専修大・男子

インカレ優勝の青山学院大・女子

全日学女子単で貴重な日本人選手としての優勝を飾った高尾和子(中大)



東西優勝校対抗戦で最多優勝(12回目)の早稲田大・男子

関東学連に強豪外国人留学生登場。新人戦優勝の周宏(埼玉大)

